

中学生海外研修2024

オーストラリア直送レポート



Vol.5

2024.8.15 登校4日目

ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 本林

吉備中学校 平野

パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 児玉

八幡中学校 熊ノ郷

[ドリップストーン校グループ]

早い子たちは、8時ごろ学校に着き、今日は何をするのか、ワクワクしながらみんなが集まるのを待ちます。



1～2時間目は、2グループに分かれて授業に参加させてもらいました。Aグループは音楽とドラマ、Bグループはドラマと美術を受けました。音楽では、先生のドラムに合わせてバケツをたたいてリズムを取り、ドラマは、昨日とよく似ており、少し恥ずかしながらもエアギターやエアサックスなどに挑戦しま



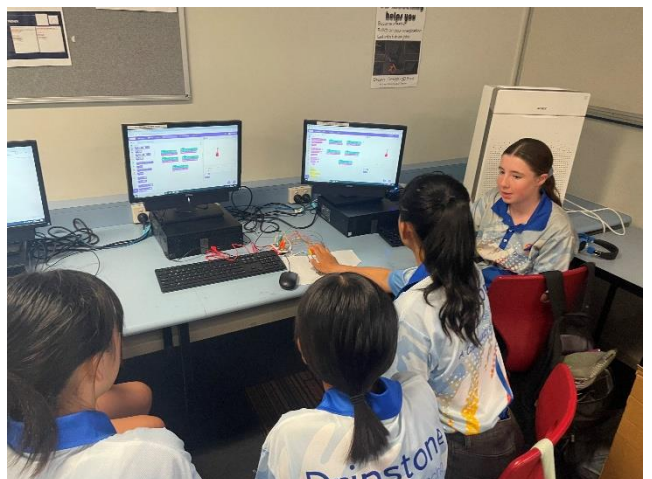
した。美術では、日没の背景の上に鳥のシルエットを描きました。集中してお手本を見ながら完成させた作品は、先生から高評価をもらうことができました。

20分休憩を挟んだ後、ドリップストーン校から歩いてナカラ小学校を訪問しました。授業を見学させてもらおうと、教室が1つ1つ区切られているわけではなく、オープンスペースで複数の授業が行われていました。全学年が週に1回日本語を学んでおり、高学年にもなると勉強熱心な子は手紙が書けるほどの力があるそうです。低学年の子たちもたくさん「こんにちは」と挨拶してくれるので、とても可愛かったです。そして、歓迎のための集会が開かれ、5～6年生と一緒に交流しました。日本人に興味津々の小学生たちは、一斉に話しかけてきてくれて、研修生が圧倒されるくらいの勢いでした。前に並んで、名前と好きなものについての簡単な自己紹介の後、グループに分かれてタブレットを使ったゲームをしました。さらに、グループごとで質問タイムが設けられ、お互いに日本やダーウィンのことを聞き合いました。



ドリップストーン校に戻り、5時間目は、AグループがICT、Bグループが柔道の授業でした。扱われる内容が研修生にとってあまり馴染みのないICTでしたが、真剣な眼差しで取り組んでいました。柔道は、楽しみながらできるようにアレンジされた方法で練習し、一生懸命に動いたので、額から汗が流れていました。ドリップストーン校の生徒がどんどんペアに誘ってくれるので、研修生たちは嬉しそうでした。

いよいよ明日は、登校最終日です。思い残すことがないように、ダーウィンの学校生活を満喫できることを期待しています。





[パーマストン校グループ]

本日は、13日と同じ中学生キャンパスで丸1日授業を受けます。

1時間目は英語の授業です。2グループに分かれての授業となり、一方は英語の同音異義語などについての授業、もう一方は歌詞を見ながら英語の曲を聴いたりしていました。普通の授業では見慣れない単語も多く、難しい顔をしながら授業を聞く研修生が多かったです。



2時間目は壁一面が鏡のダンス用の教室に移動して、ダンスのレッスンを受けます。ここで事態は思わぬ方向に。研修生が、日本の学校での創作ダンスを披露したのをきっかけに、急遽研修生が現地学生に振り付けを指導することになりました。戸惑いながらもみんなの前に立って、英語で振り付けを指導する度胸に感心しました。みんなで音楽に合わせて踊ると大盛り上がり。国籍を超えた一体感を感じることができました。

2時間目が終わると、Recess という 30 分程度の休憩があります。イスに座っていると、どこからともなく現地学生が研修生のところに集まってきます。はじめは研修生同士で固まっていたましたが、会話が進むにつれ、分散して会話を楽しんでいた。



3時間目は体育です。体育館で鬼ごっこやバレー、バスケットなど短い時間で内容を変えながら進ん

でいきます。英語が聞き取れずルールが理解できないこともありましたが、現地学生が身振り手振りで教えてくれたので最後まで取り組むことができました。

4時間目は数学の授業です。数学では、2つのグループに分かれて授業を受けました。一方のグループは教室内で数字のゲームをやっていました。もう一方のグループはというと、教室から飛び出し広大な芝生のグラウンドへ。フリスビーを飛ばした回数を記録するディスクゴルフのような内容でした。日本では数学の授業で屋外にでることは少ないので、研修生も驚いていました。



カフェテリアで昼食をとると、昼休みです。Recess の時間同様この時間もたくさんの現地学生が集まってきます。1人の研修生がけん玉を披露すると、ぐると囲まれ、成功するたびに歓声があがります。また、日本語でメッセージを書いてプレゼントしてくれた現地学生がいました。丁寧に書かれた日本語はとても上手で、日本への愛情を感じ、とても感動しました。



最後は図書館に集まっていくつかのテーブルに分かれて英語での会話をゆっくり楽しみました。年齢が近い中学校での時間は、研修生たちにとって本当に充実したものになり、英語でたくさんの会話ができた達成感を感じていることと思います。多くの友達と仲良くなってきたところでのお別れとなるのが寂しくも感じますが、残り少ない滞在期間を全力で駆け抜けてもらいたいです。